

令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	岩木常盤野コミュニティセンター
施設の設置目的	地域住民のコミュニティ意識の高揚を図り、郷土愛に根ざした自主的地域活動の推進に資するため。
所在地	弘前市大字常盤野字上黒沢25番地73
指定管理者名	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>事業計画にある管理運営の基本方針に沿った事業を実施し、利用者の安全確保、サービスの向上、設備の維持管理に努めている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>自主事業については、協定書等に規定していないため、当施設は対象外。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>草刈や花壇の植え替えなど、環境美化に努めているほか、施設内外の設備点検を定期的を実施しており、設備の維持管理に努めている。 また、管理組合員が当番制で定期的に施設の清掃、雪かき、屋根の雪下ろし、雪囲い設置など、環境整備に努めている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>施設を利用した際に、口頭での意見の聞き取りに努めている。令和4年度においては、特に意見なし。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和4年度の利用許可件数は5件、利用者数は73人となっており、前年度と比較すると、利用者数は増加した。（参考：令和3年度 利用許可件数5件、利用者数44人）</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>
7 実地調査の結果	<p>管理組合員が協力し施設内の環境美化や維持管理、防犯対策に努めており、適正な管理運営を実施していた。</p>

8 成果指標の達成度

利用件数…目標利用件数14件に対し、利用実績件数5件のため、達成度は35.7%
 利用者数…目標利用者数 281人に対し、利用者実績数73人のため、達成度は26.0%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	計画に基づき管理運営を実施し、適正な事務手続きに努めた。また、日頃から利用者からの意見・要望等の把握に努めている。	計画的な施設の管理運営を実施し、利用者の増加に努めていく。
施設の管理	B	施設内外の設備点検を頻繁に実施し、維持管理に努めている。また、組合員が協力して、施設の大掃除や雪かき、屋根の雪下ろし、雪囲い設置を実施している。	利用者の安全を第一に、設備の維持管理、環境美化に努めていく。
経理の状況	B	毎年度、必要経費を計画し、経費の削減に努めながら、計画に沿った支出を実施している。	適正な予算執行に努めていく。
団体の財務状況	B	安定した財務状況を維持している。	今後も健全な財務状況を維持する。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	計画に基づき管理運営を実施し、また、経費節減に努めている。また、施設の利用許可等事務手続きを適正に行っているほか、日頃から利用者からの意見・要望等の把握に努めている。	計画的な施設の管理運営を実施し、利用者の増加に努めていく。
施設の管理	B	草刈や花壇の植え替えなど、環境美化に努めているほか、施設内外の設備点検を定期的に行い、環境整備に努めている。また、組合員が協力して、施設の大掃除や雪かき、屋根の雪下ろし、雪囲い設置を実施している。	利用者の安全確保に留意し、施設の環境美化、設備の維持管理に努めていく。
経理の状況	B	毎年度、必要経費を計画し、経費の削減に努めながら、計画に沿った支出を実施している。	適正な予算執行に努めていく。
団体の財務状況	B	安定した財務状況を維持している。	今後も健全な財務状況を維持する。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する